

絵本『ちいさなあなたへ』が募集した親子のエピソード

わたしの中の「ちいさなあなたへ」



夜中にぐずるのは、
いろんなことを思い出しながら寝てるからなんだね。

せいいっぱい復習して成長してるんだね。
わかってあげられるようになったら、
らくになったよ。



初めて一歩をふみだして、
すぐにどしんと尻もちをついた。

でも、きみはわたしをみあげて、
どうだとばかりに、
にこっと笑った。

きみの成長に、
わたしの心配なんていらぬね。



道ばたにタンポポの綿花をみつけて、うれしそうに吹いていたね。

忘れていたよ、いつもの散歩道にも美しいものがあるってこと。



お迎えに行こうと思っていたのに、
「カギわすれちゃってさ」と
ドアフォン越しに汗ばんだ
おでこが見えた。

まだ背が小さくて顔は見えなかったけど、
きっと得意げな
笑顔だったんだろうな……





どピンクのキャラクターのワンピース。

「それを買うの!？」と言った私に、
「そうやっておかあさんは、
わたしのじんせいをきめるんだから」

と2年生のきみはのたまひ、
一人ですっくと立ってたね。



授業参観のときに、
それとなくお母さんの姿を探して、
見つけたらニヤリとするのは、
5年生になっても同じだね。

俺の肩にのって喜んでいた君。

あれから 13 年たって、今では、俺が君の肩あたりだ。
でもまだ面倒みてやるぞ。君が社会にでるまでは。



きみが初めて酔っぱらって帰ってきたとき。

「かあさんには、ほんまいつも世話になっとるねん。感謝しとるねん」

何度もくりかえし、くりかえし、言ってくれたね。

きみが忘れても、私は忘れないよ。



幼かった私に合わせて、

ゆっくり歩いてくれた、あなた。

今は、私があなたに合わせてる。



妹も弟もいない日曜日。

私は母をひとりじめできた。

帰ってくる父と妹、弟を驚かそうと

二人でトイレにこもった時間は、

30年以上たった今でも覚えている。

愛しい時間。



夕食のしたくをしている

お母さんの鼻歌が聞こえると、
あしたは晴れになるような
気がした。



いやなことがあったとき。

心配かけたくなかったから、ほんとうのことは言えなかったのに、
なぜだろう、

次の日の朝ごはんは、いつだって大好きな卵サンドだった。



絵本『ちいさなあなたへ』が募集した親子のエピソード
わたしの中の「ちいさなあなたへ」

エピソード提供

MillAngelina さん、lionsblue さん、gamechiki さん、aguringo さん、
on10off10 さん、kakko_shi さん、nitta_pe_japan さん、hatosky さん、
azukihimeko さん、noakkaon さん、T.D さん、peyo さん

イラスト

もとやままさこ

編集

浜本律子 大塚亜周（主婦の友社）

Special Thanks

なかがわちひろ

エピソード募集にご参加くださったすべての親子のみなさま